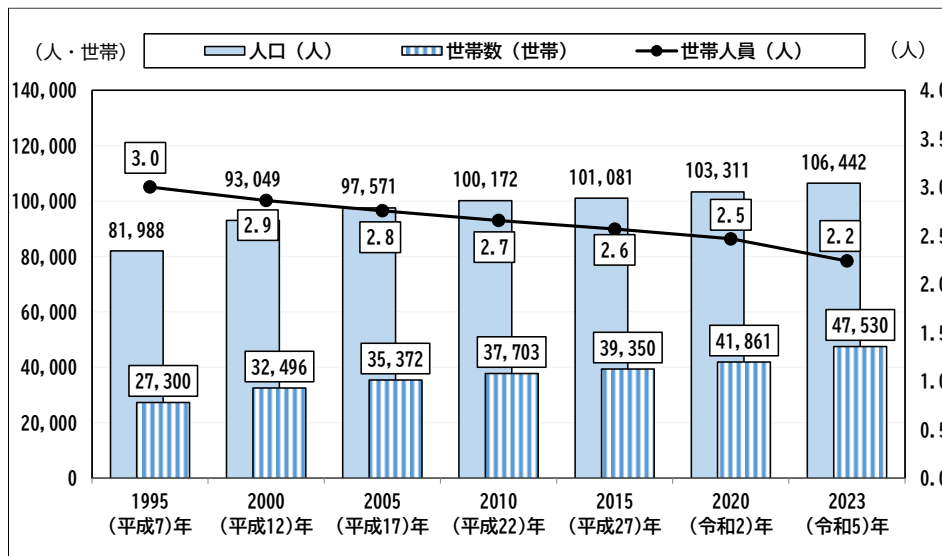




第2章 筑紫野市の状況

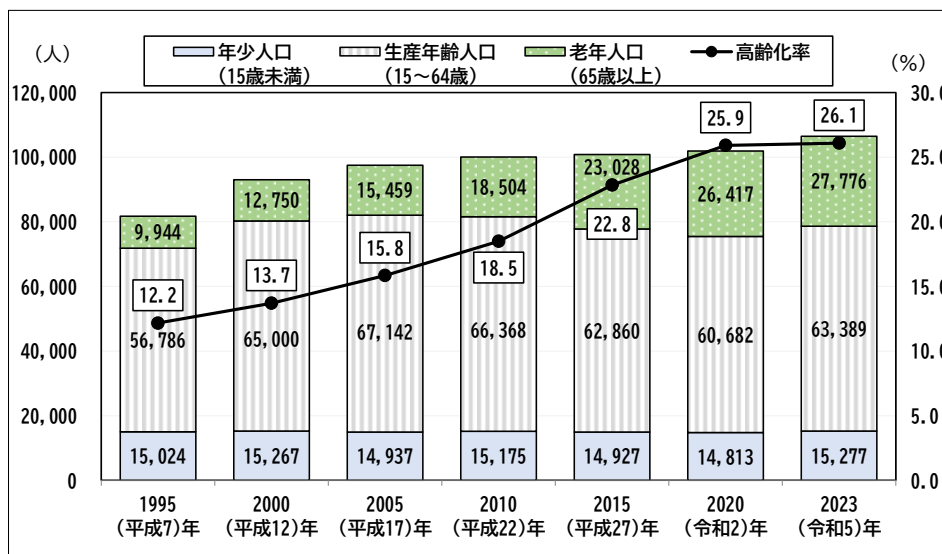
1 人口・世帯数の状況

人口は、増加傾向で推移しており、平成27年の101,081人から令和5年は106,442人となり、8年間で5,361人増加しています。世帯数は、39,350世帯から47,530世帯と増加している一方で、1世帯あたりの人員は2.6人から2.2人と減少し、世帯の小規模化が更に進んでいます。



出典：国勢調査（平成7年～令和2年）、住民基本台帳（令和5年1月1日現在）

年齢区分別人口の推移を見ると、「年少人口」、「生産年齢人口」の占める割合は減少傾向が続いていましたが、令和5年においてはともに増加しています。「老年人口」は増加を続けており、高齢化率は令和5年で26.1%となっています。

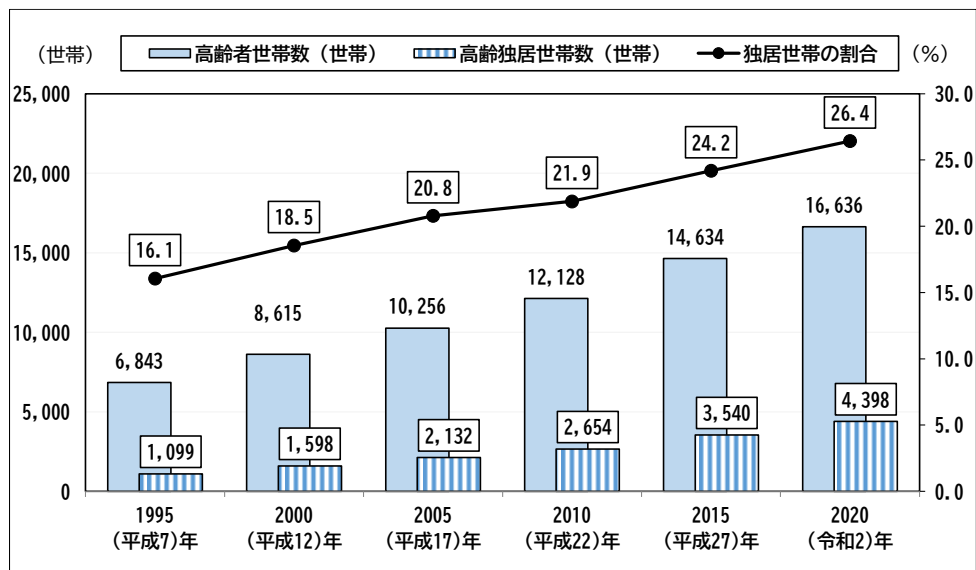


出典：国勢調査（平成7年～令和2年）、住民基本台帳（令和5年1月1日現在）



第2章 筑紫野市の状況

高齢者世帯数の推移を見ると、「高齢者世帯数」、「高齢独居世帯数」はともに増加傾向にあり、高齢者世帯に占める高齢独居世帯数は令和2年で26.4%となっています。

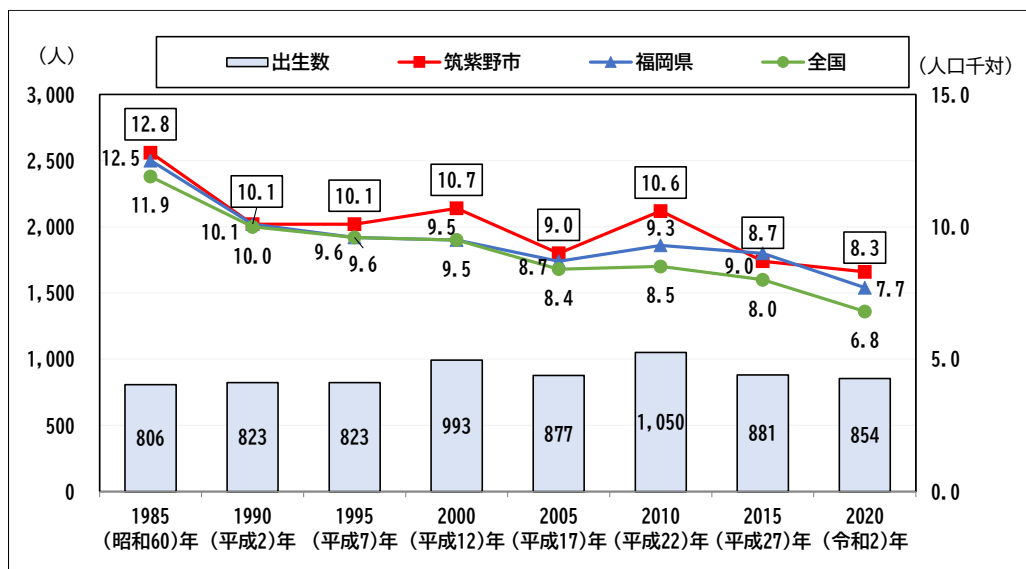


出典：国勢調査（平成7年～令和2年）

2 出生数と出生率の状況

出生数は、年間800人から1,000人程度で推移しています。

出生率は昭和60年の12.8%から令和2年では8.3%に低下していますが、国及び県より高くなっています。



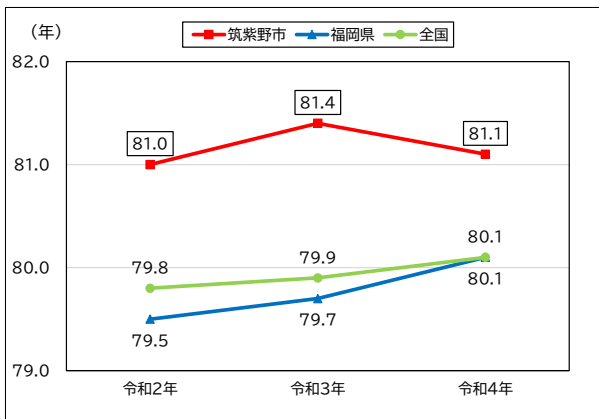
出典：厚生労働省人口動態統計（昭和60年～令和2年）



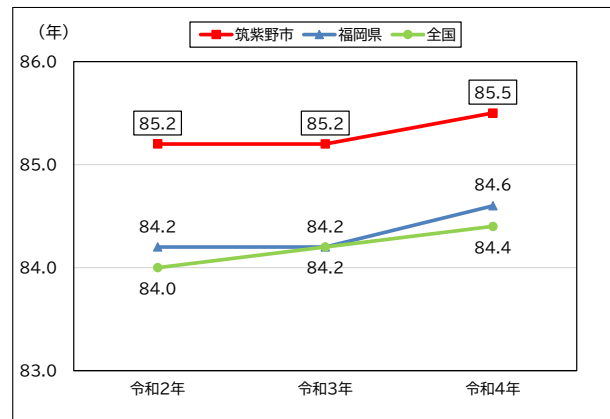
3 平均自立期間

中間評価までは健康寿命を国や県のデータと比較していましたが、現在は平均自立期間をみています。本市の平均自立期間は、令和4年で男性では81.1年、女性では85.5年となっており、国及び県の水準より高くなっています。

【男性】



【女性】

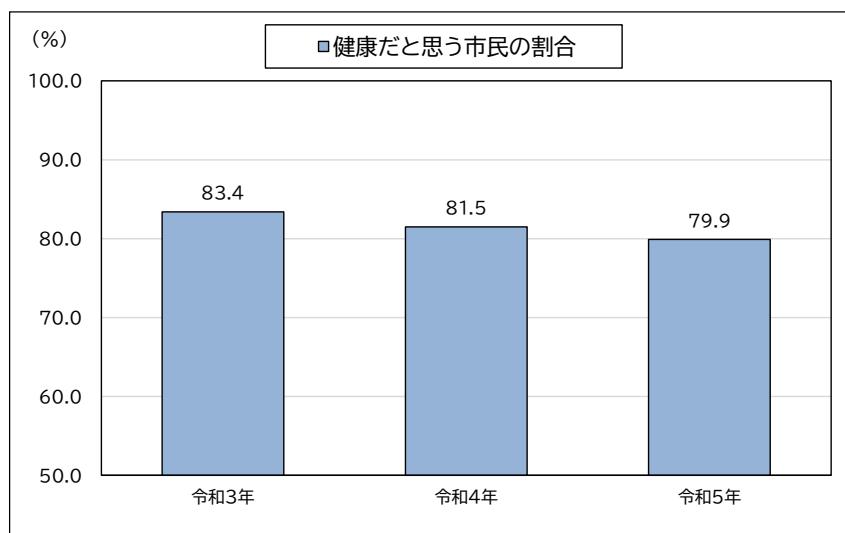


出典：国保データベースシステム

※国保データベース（KDB）システムにおいては、「日常生活動作が自立している期間の平均」を指標とした健康寿命を算出し、「平均自立期間」と呼称している。介護受給者台帳における「要介護2以上」を「不健康」と定義して算出する。（平均余命からこの不健康期間を除いたものが、平均自立期間である。）

4 主観的健康観

令和5年の健康だと思う市民の割合は79.9%となっており、減少傾向にあります。



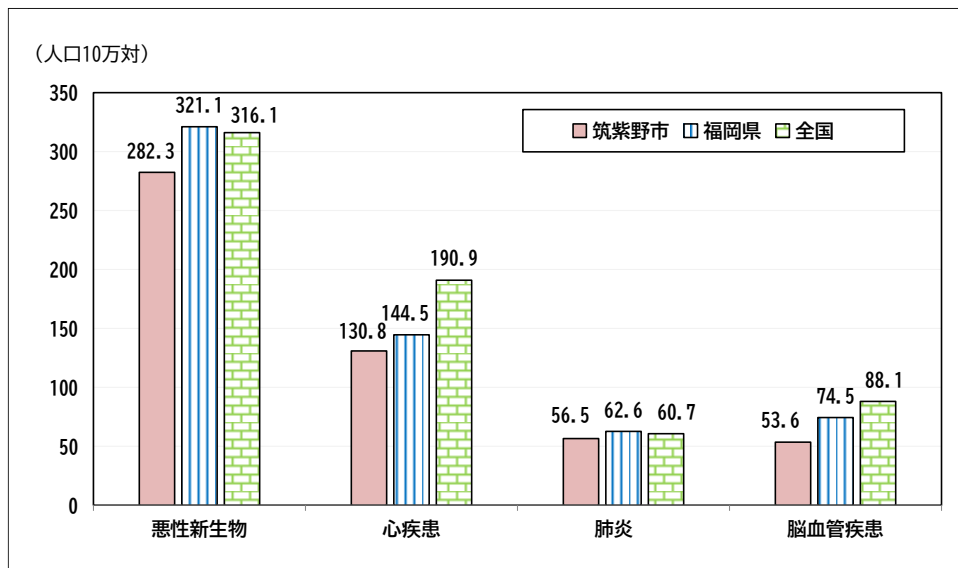
出典：ちくしのまちづくりアンケート



5 主要死因と死亡の状況

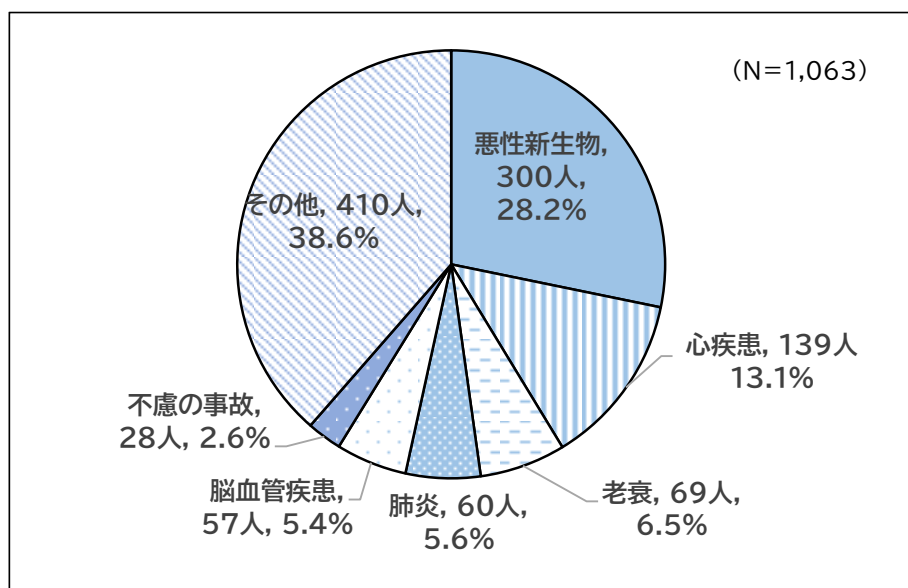
令和4年の主要死因別死亡率は、悪性新生物が最も多くなっています。

一方で、心疾患は130.8であり、全国の190.9と比較すると7割ほどの死亡率となっています。



出典：人口動態統計（令和4年）

令和4年の主要死因割合は、悪性新生物が28.2%、心疾患が13.1%、老衰が6.5%となっており、上位3つの死因で全死因の約5割を占めています。



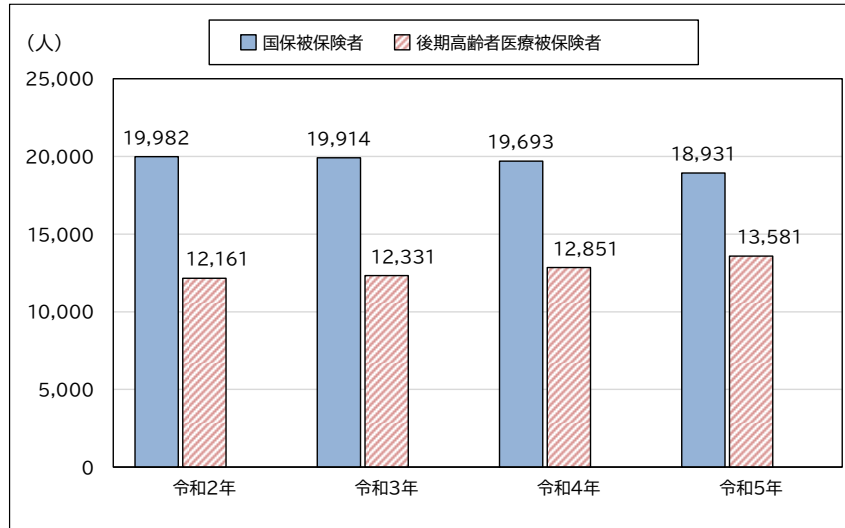
出典：人口動態統計（令和4年）



6 国保被保険者及び後期高齢者医療被保険者の状況

(1) 国保・後期被保険者数推移

国保被保険者が減少し、後期高齢者医療被保険者が増加しています。



集計は各年3月末時点

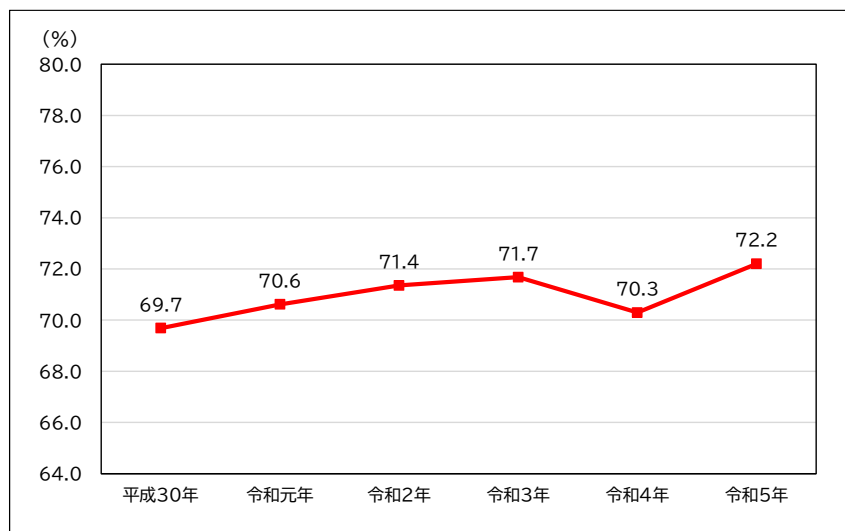
出典：国民健康保険事業状況報告書（事業年報）

福岡県後期高齢者医療広域連合市町村別被保険者数（ホームページ）

7 健康診査・がん検診、保健指導の状況

(1) 年に1回健康診査を受けている市民の状況

年に1回の健康診査を受けている市民の割合は、令和5年で72.2%となっており、令和4年を除いて増加傾向となっています。



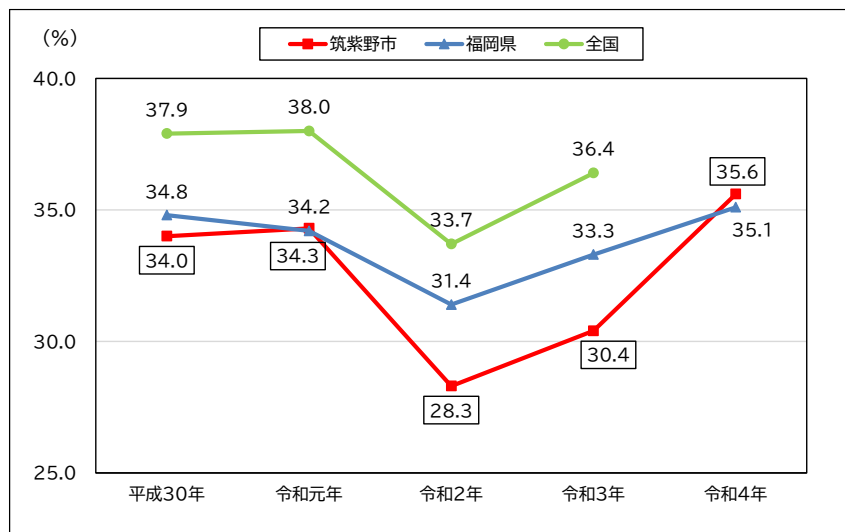
出典：ちくしのまちづくりアンケート



第2章 筑紫野市の状況

(2) 特定健康診査の状況

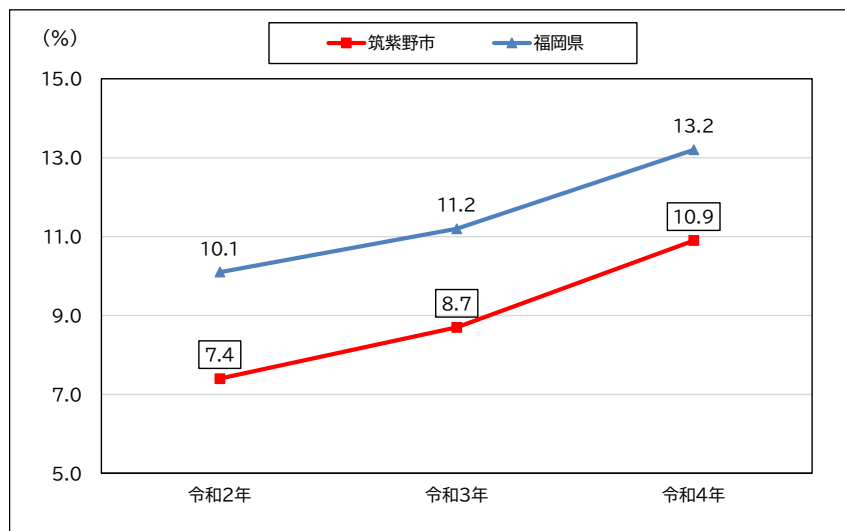
特定健康診査の受診割合は、令和4年で35.6%となっています。



出典：特定健診法定報告

(3) 後期高齢者健診の状況

後期高齢者健診の受診率は、増加傾向となっており、令和4年で10.9%となっていますが、県よりも低くなっています。



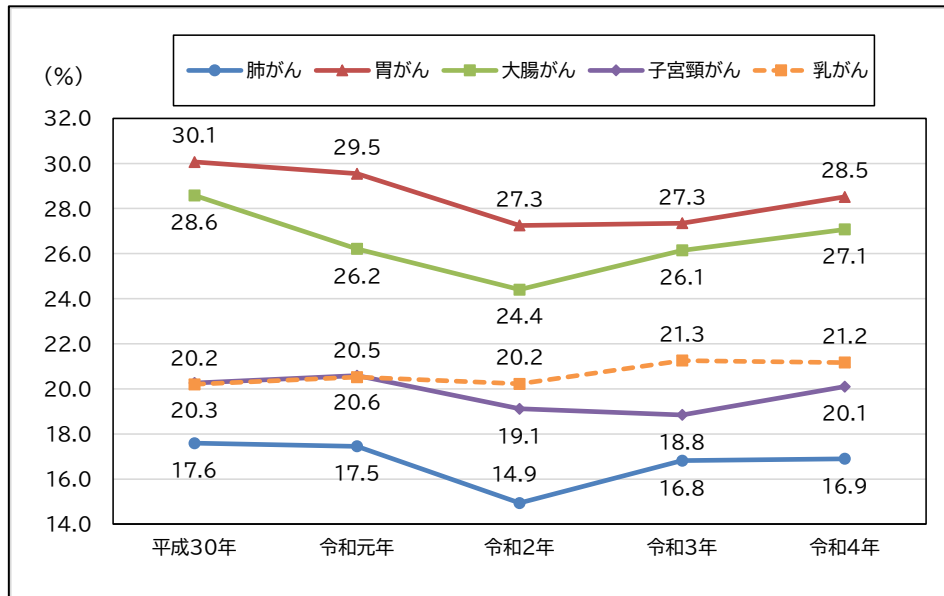
	令和2年		令和3年		令和4年	
	筑紫野市	福岡県	筑紫野市	福岡県	筑紫野市	福岡県
対象者数 (人)	12,460	702,626	13,004	720,238	13,685	741,301
受診者数 (人)	917	70,993	1,128	80,935	1,488	97,546
受診率 (%)	7.4	10.1	8.7	11.2	10.9	13.2

出典：保健事業等評価・分析システム



(4) がん検診の状況

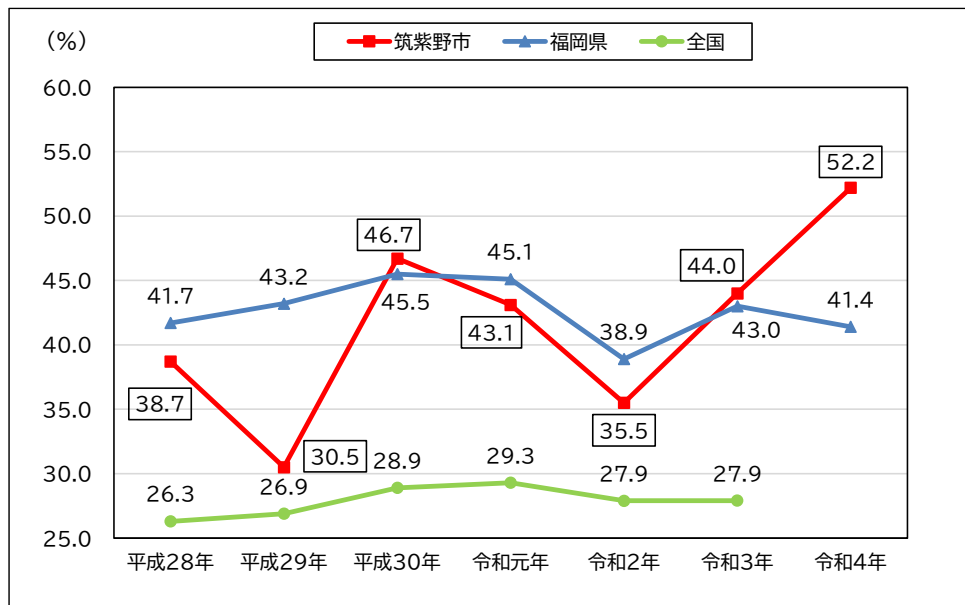
がん検診を受けている市民の割合では、各検診ともに令和2年に落ち込みが見られますが、その後は緩やかな増加傾向にあります。令和4年の受診率では、肺がん 16.9%、胃がん 28.5%、大腸がん 27.1%、子宮頸がん 20.1%、乳がん 21.2%となっています。



出典：ちくしのまちづくりアンケート

(5) 特定保健指導の状況

特定保健指導の実施状況は、令和4年で52.2%となっており、増加傾向にあります。



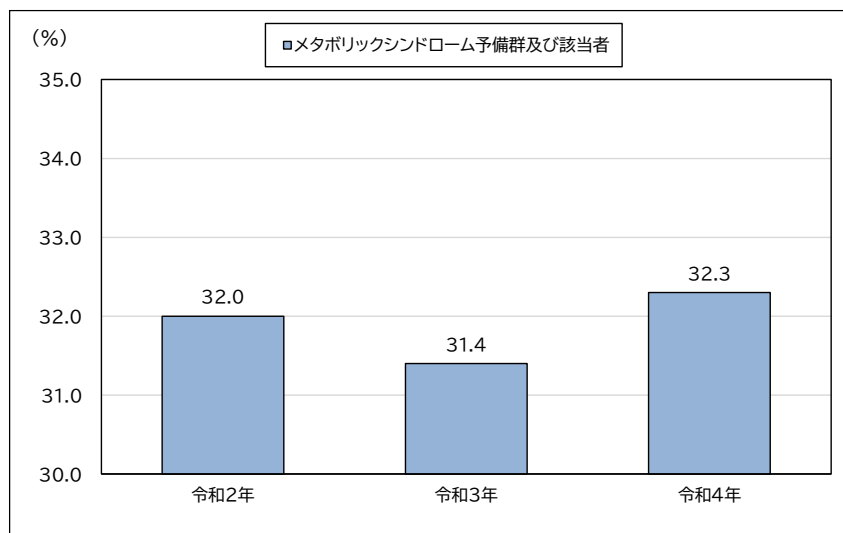
出典：特定健診法定報告



8 健診有所見者の状況

(1) メタボリックシンドローム予備群及び該当者の状況

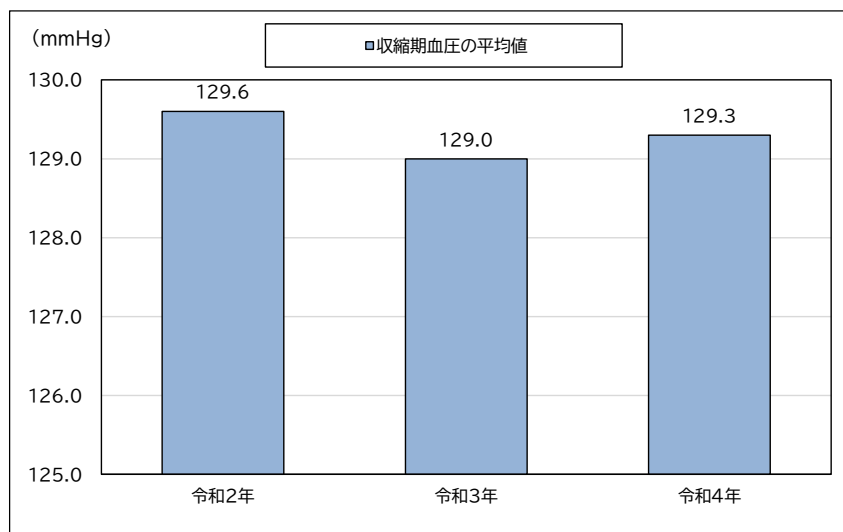
メタボリックシンドローム予備群及び該当者の状況は、令和4年で32.3%となっており、令和3年より0.9ポイント増加しています。



出典：特定健診法定報告

(2) 高血圧者の状況

高血圧の指標である収縮期血圧の本市の平均値の状況は、令和4年で129.3mmHgとなっています。

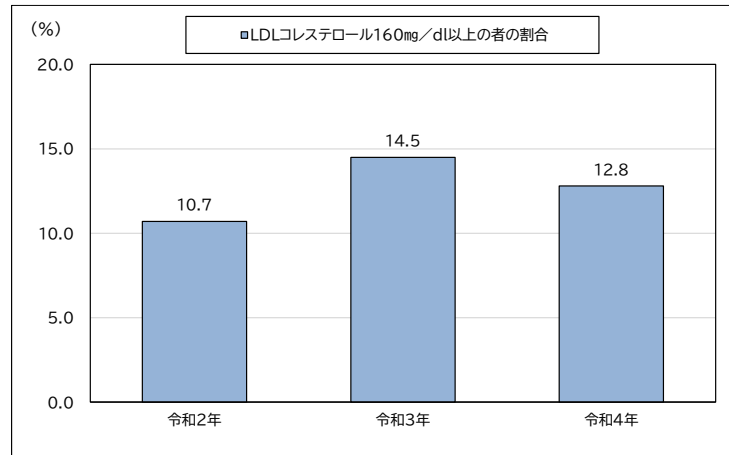


出典：国保データベースシステム、筑紫野市特定健診・後期高齢者健診結果



(3) 脂質高値の者の状況

脂質高値の者の割合は、過去3年間で横ばい傾向となっています。

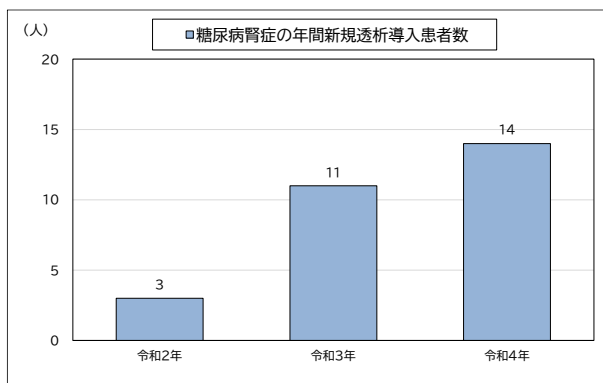


出典：国保データベースシステム

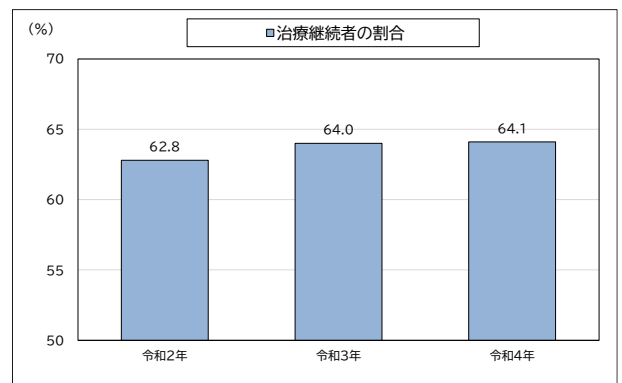
(4) 糖尿病に関する状況(合併症、治療継続者、血糖コントロール不良者、有病者数)

糖尿病に関する状況は、合併症の新規透析導入患者数は増加傾向、治療継続者の割合は増加傾向、血糖コントロール不良者の割合は横ばい傾向、有病者数は増加傾向となっています。

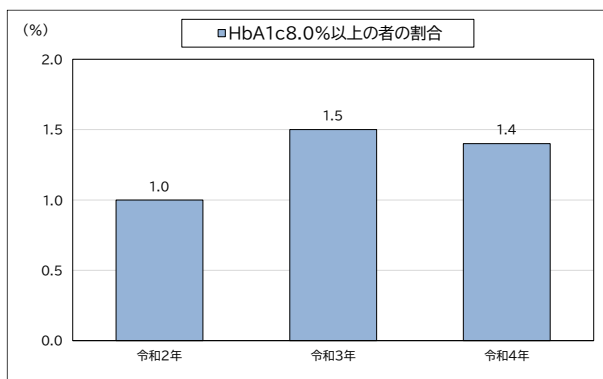
【合併症】



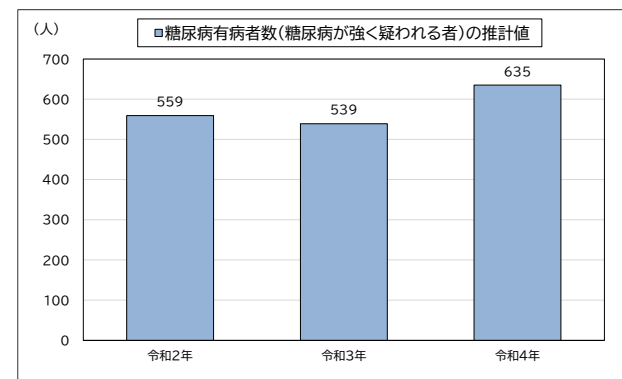
【治療継続者】



【血糖コントロール不良者】



【有病者数】

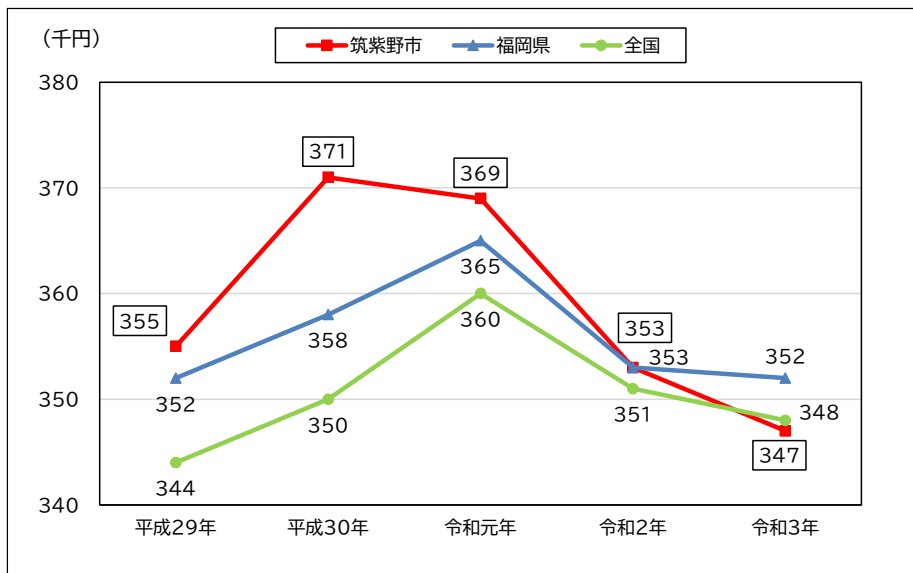


出典：国保データベースシステム



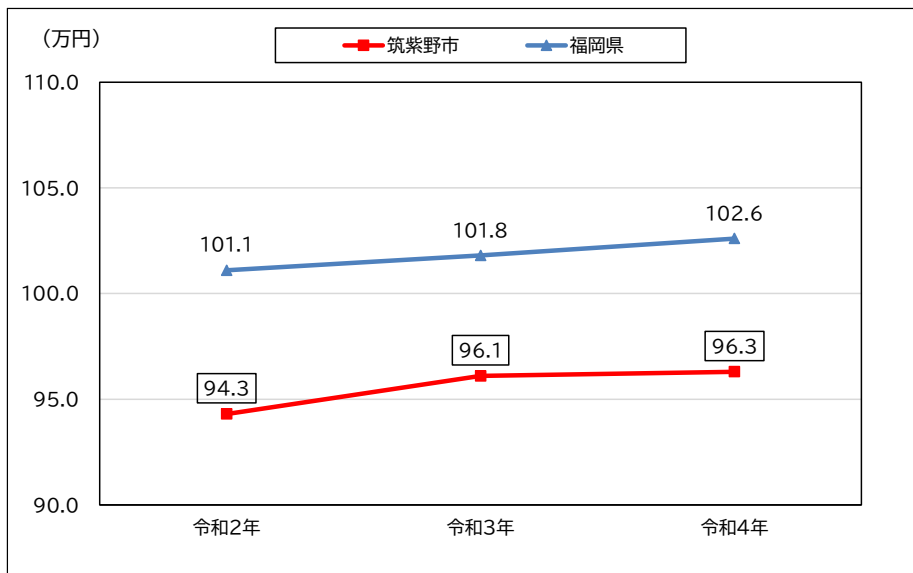
9 医療費の状況

国民健康保険加入者の一人あたりの年間医療費（一般医療費）は、平成30年の371,403円をピークに減少傾向に転じ、令和3年では347,178円となっており国及び県の水準を下回っています。



出典：国保データベースシステム

後期高齢者の一人あたりの年間医療費（一般医療費）は、増加傾向となっていますが、県の水準を下回っています。



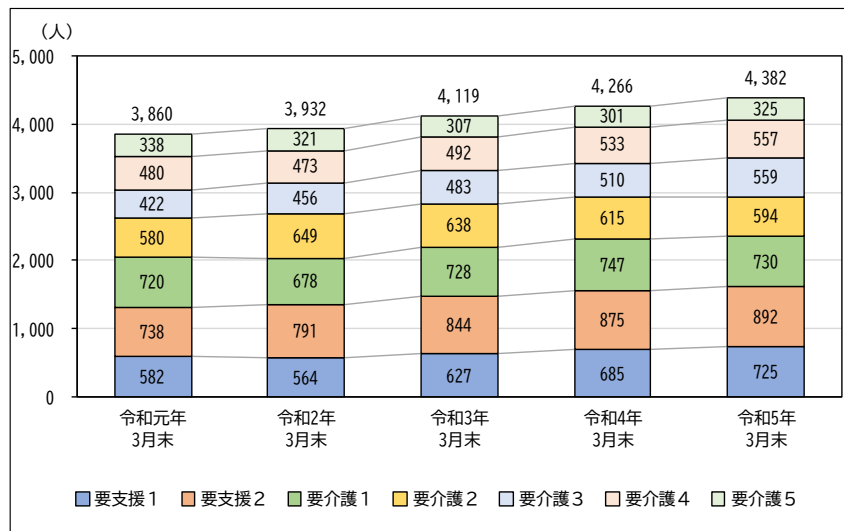
出典：国保データベースシステム



10 介護の状況

(1) 要支援・要介護認定者の状況

要支援・要介護認定者の状況は、増加傾向となっており、令和5年3月末時点では4,382人となっています。

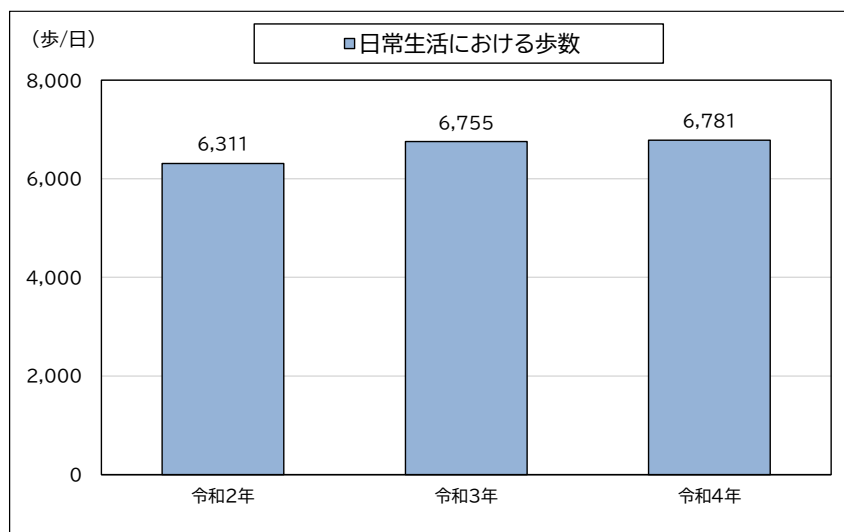


出典：見える化システム

11 生活習慣の状況

(1) 日常生活における歩数の状況

日常生活における歩数の状況は、増加傾向となっています。



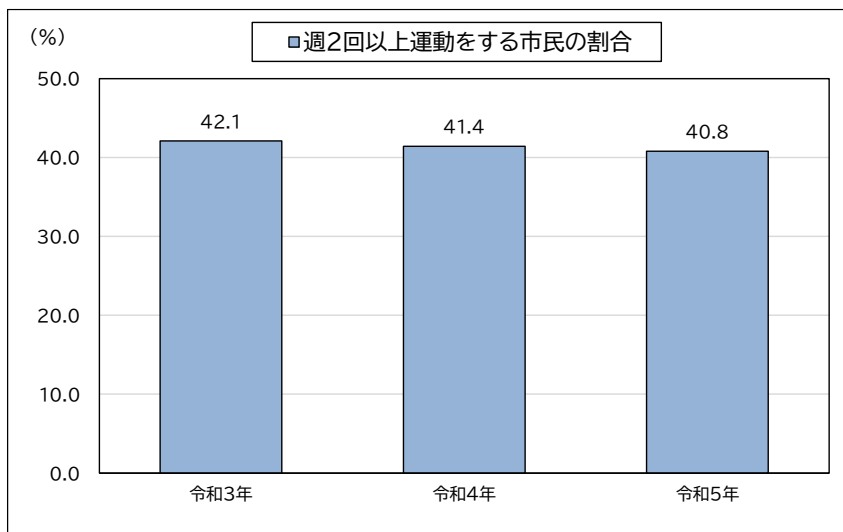
出典：ふくおか健康ポイントアプリ登録データ



第2章 筑紫野市の状況

(2) 運動習慣者の状況（週2回以上運動する市民）

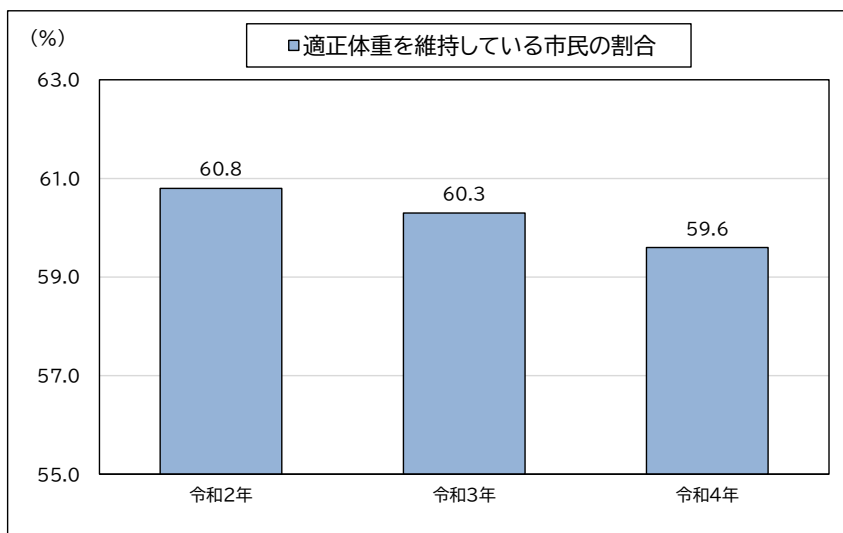
週2回以上運動をする市民の割合は、わずかに減少傾向となっています。



出典：ちくしのまちづくりアンケート

(3) 適正体重を維持している市民の状況

適正体重を維持している市民の割合については、減少傾向となっており、令和4年では59.6%となっています。



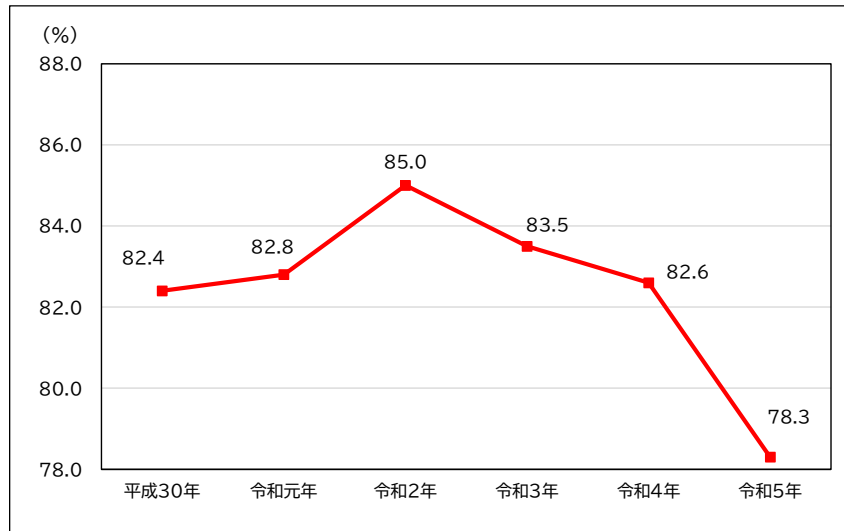
出典：筑紫野市健康診査問診結果

※BMI18.5以上25未満（65歳以上はBMI20以上25未満を適正体重としている）



(4) 睡眠で休養がとれている市民の状況

睡眠・休養が「十分とれている」、「ある程度取れている」人の割合については、令和2年を境に増加傾向から減少傾向に転じ、令和5年では78.3%となっています。

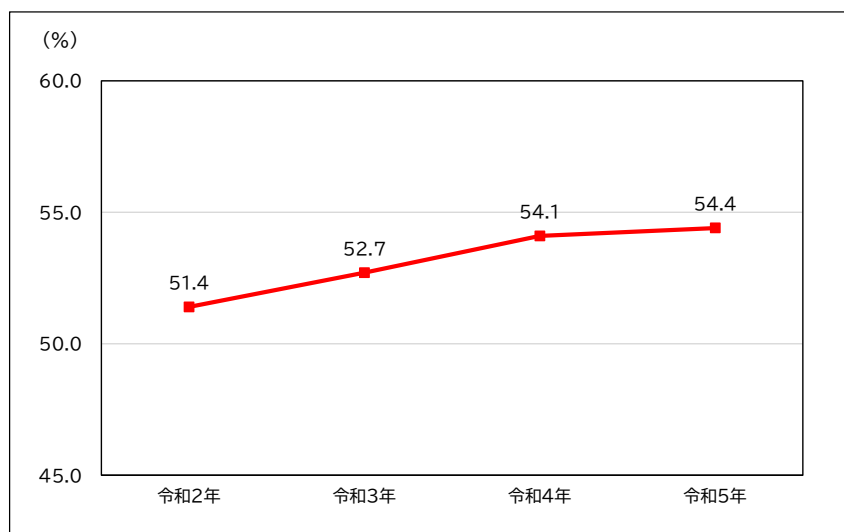


出典：ちくしのまちづくりアンケート

(5) 歯科・口腔機能の状況（定期歯科検診受診、歯周病の割合、咀嚼良好な者の割合）

【定期的に歯科検診を受けている市民の割合】

定期的に歯科検診を受けている市民の割合については、令和2年を境に増加傾向に転じ、令和5年では54.4%となっています。



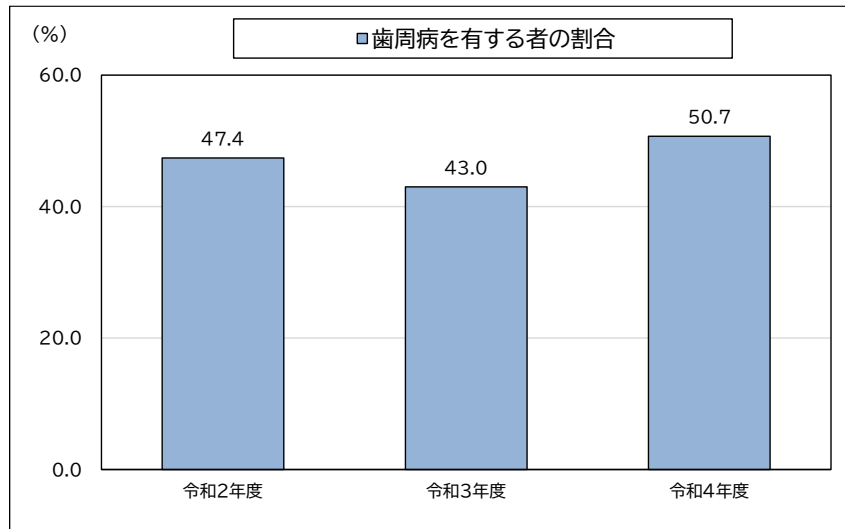
出典：ちくしのまちづくりアンケート



第2章 筑紫野市の状況

【歯周病を有する者の割合】

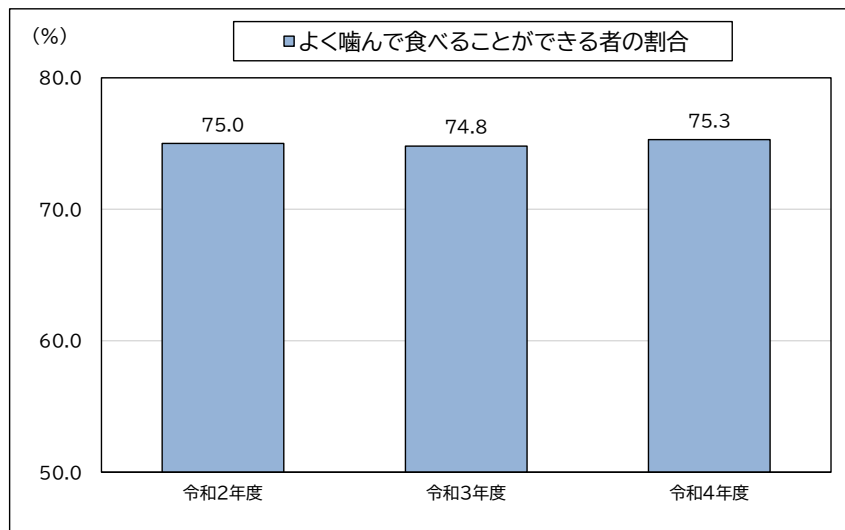
成人歯科検診では口腔内清掃状態をはじめ歯石の付着や歯肉出血、歯周ポケットの深さなどを総合して診ています。歯周ポケット 4 mm以上の人は歯周病が進行している状態であり、令和4年度は50.7%となっています。



出典：筑紫野市成人歯科検診結果

【よく噛んで食べることができる者の割合】

歯で食物を噛み、飲み込む（嚥下）という一連の動作を咀嚼といいます。咀嚼を良好に保つことは、栄養バランスを保ち、心身の機能維持のために重要です。咀嚼良好な人の割合は75%前後で推移しています。

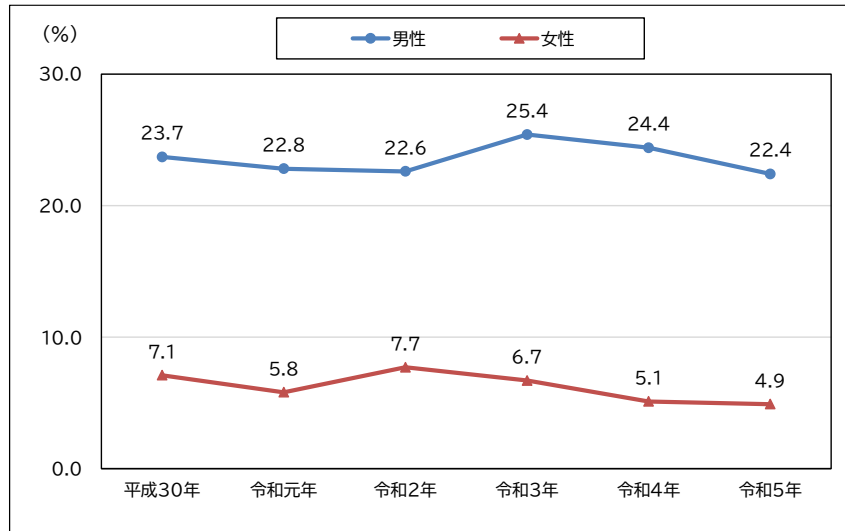


出典：筑紫野市健康診査問診結果



(6) 喫煙の状況

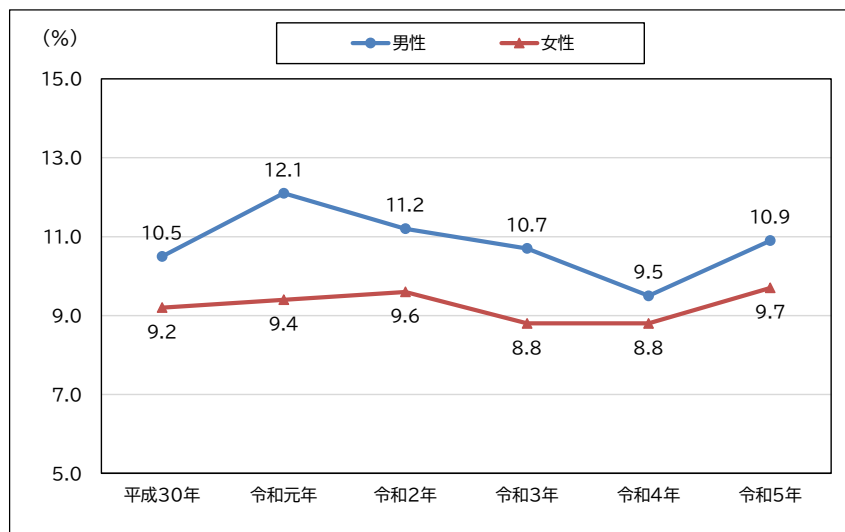
喫煙している市民の割合については、男性は令和3年以降減少傾向となっており、令和5年では22.4%となっています。女性は令和2年以降減少傾向にあり、令和5年では4.9%となっています。



出典：ちくしのまちづくりアンケート

(7) 飲酒の状況

生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している市民の割合については、令和4年までは男性の割合は減少傾向でしたが、令和5年では増加し10.9%となっています。女性は横ばいに近い傾向で推移していましたが、令和5年では増加し9.7%となっています。



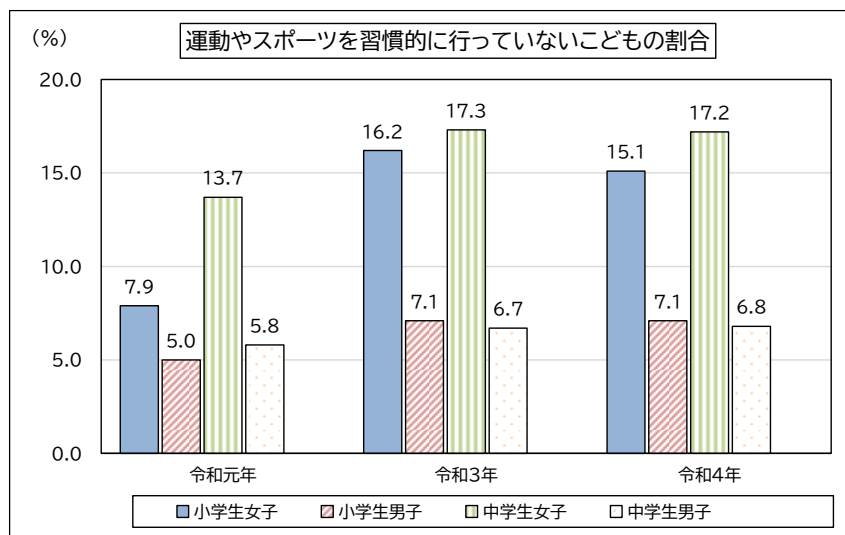
出典：ちくしのまちづくりアンケート



1 2 こどもの状況

(1) 運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの割合

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、コロナ禍で増加し、令和4年もコロナ禍前である令和元年の水準に戻っていません。

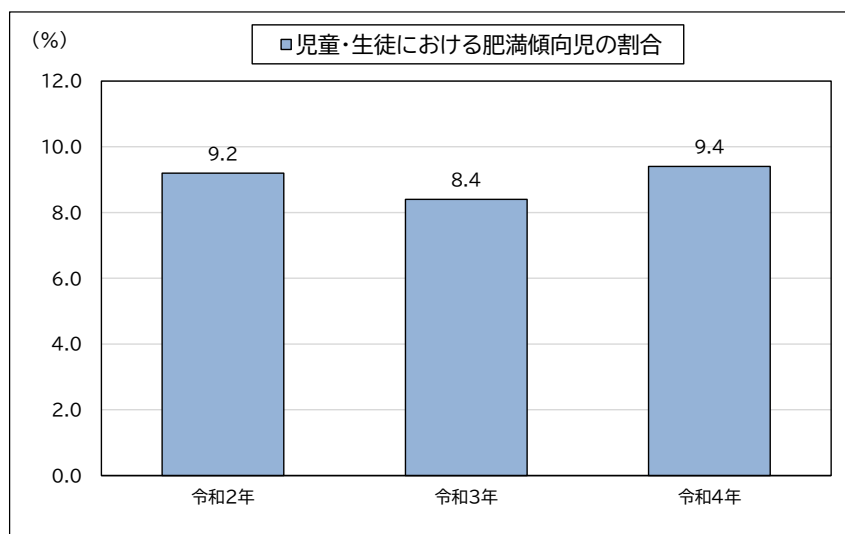


出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査

※令和2年度はコロナ禍のため調査無し

(2) 児童・生徒における肥満傾向児の割合

児童・生徒における肥満傾向児の割合については、9%前後で推移しており、令和5年では9.4%となっています。



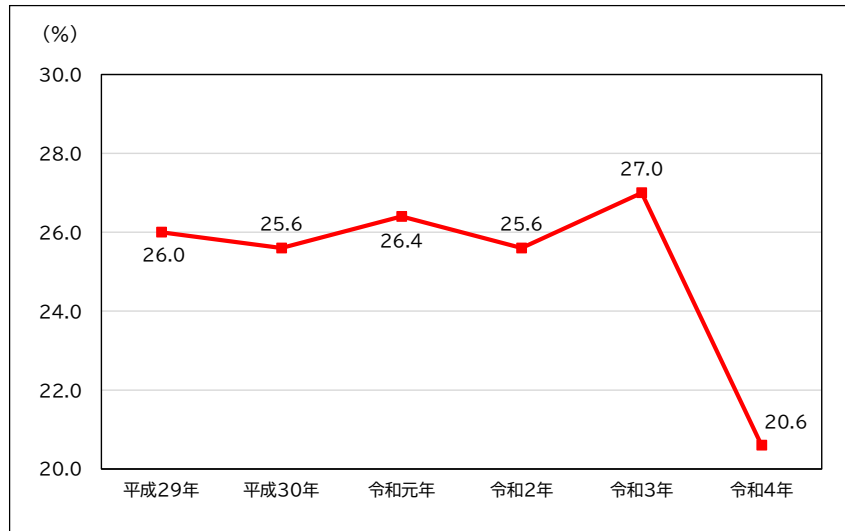
出典：福岡県児童生徒体力・運動能力調査



(3) 6～7時までに起床する3歳児の割合、20～21時までに就寝する3歳児の割合

【6～7時までに起床する3歳児の割合】

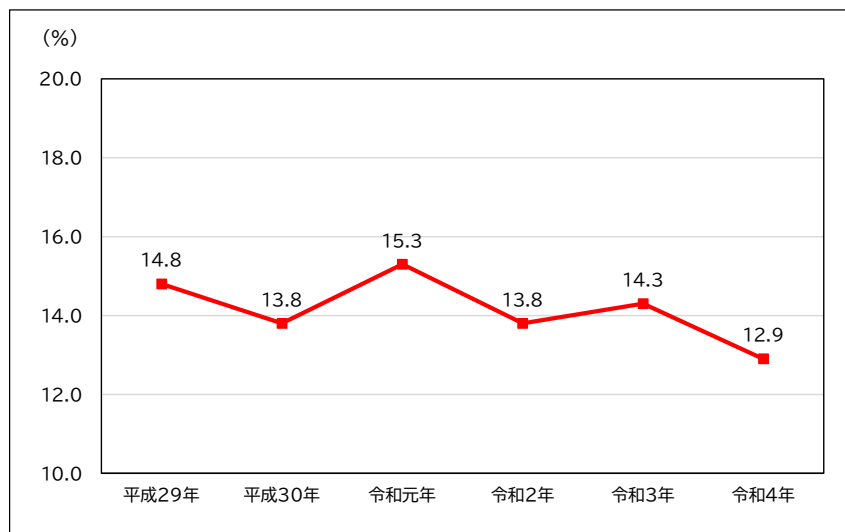
6～7時までに起床する3歳児の割合は、上昇傾向にありましたが、令和4年には20.6%と大幅に減少しています。



出典：筑紫野市健やか親子アンケート

【20～21時までに就寝する3歳児の割合】

20～21時までに就寝する3歳児の割合は、14～15%前後でほぼ横ばいに推移していましたが、令和4年では12.9%と減少しています。



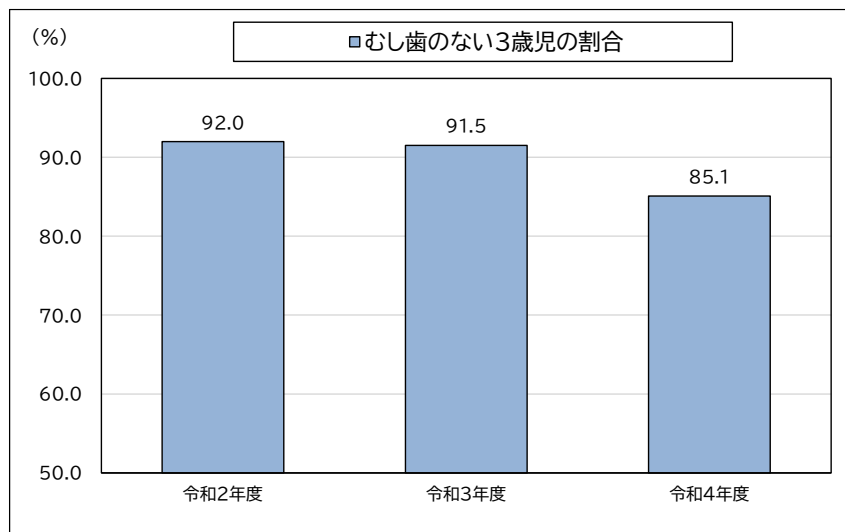
出典：筑紫野市健やか親子アンケート



第2章 筑紫野市の状況

(4) むし歯のない3歳児の割合

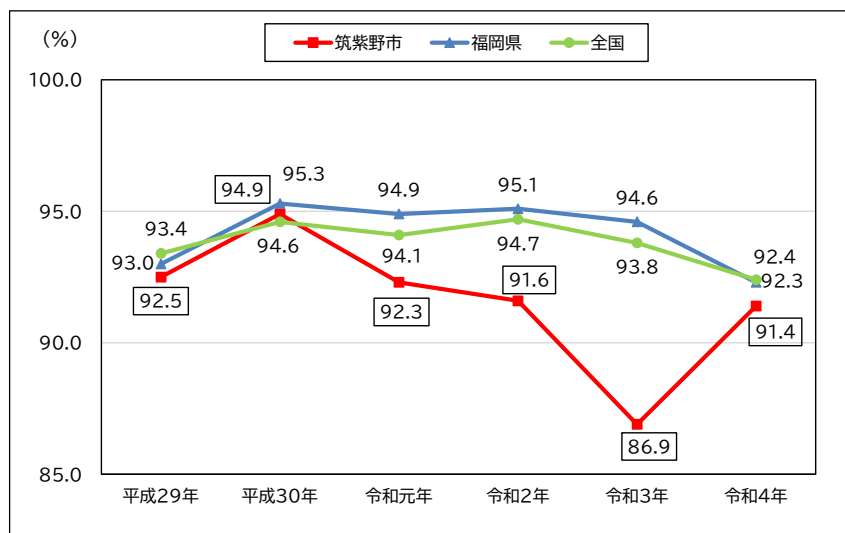
むし歯のない3歳児は、令和4年度では85.1%となっています。



出典：筑紫野市乳幼児健康検診

(5) 定期麻疹風しん第2期予防接種実施率

定期麻疹風しん第2期接種の実施率は過去6年間で概ね国及び県の数値を下回っている状況にあり、令和4年では91.4%となっています。



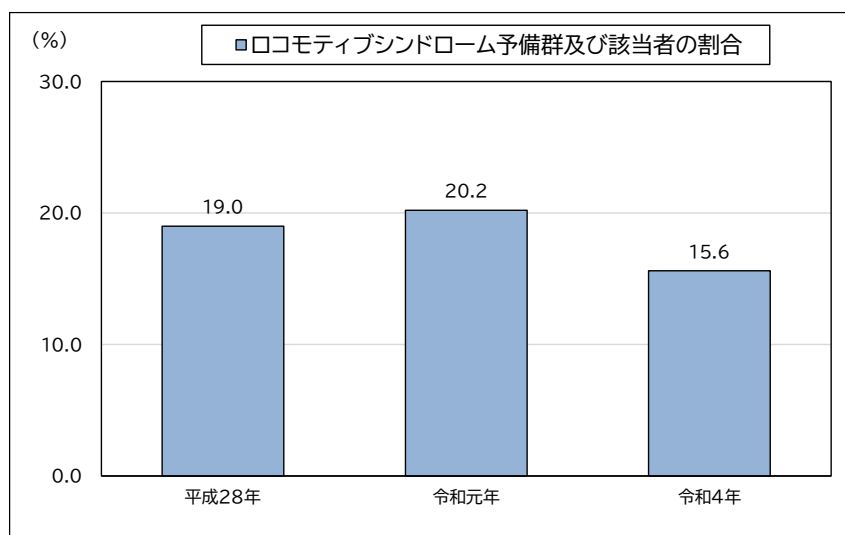
出典：国：定期の実施者数、県：地域保健事業報告、市：筑紫野市予防接種実績



1.3 高齢者の状況

(1) ロコモティブシンドロームの状況

本市のロコモティブシンドローム（運動器の機能低下者）予備群及び該当者の割合は令和4年では15.6%と減少しています。



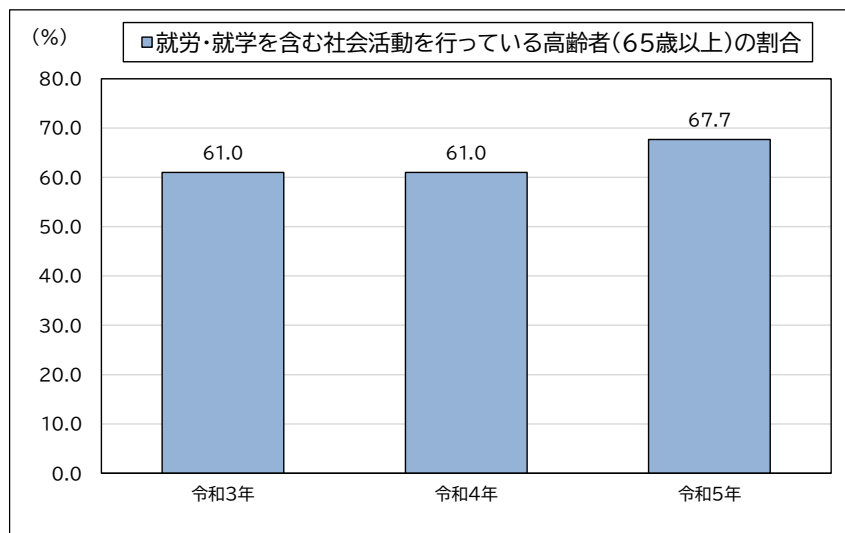
出典：筑紫野市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（R5）



第2章 筑紫野市の状況

(2) 社会活動を行っている高齢者（65歳以上）の割合

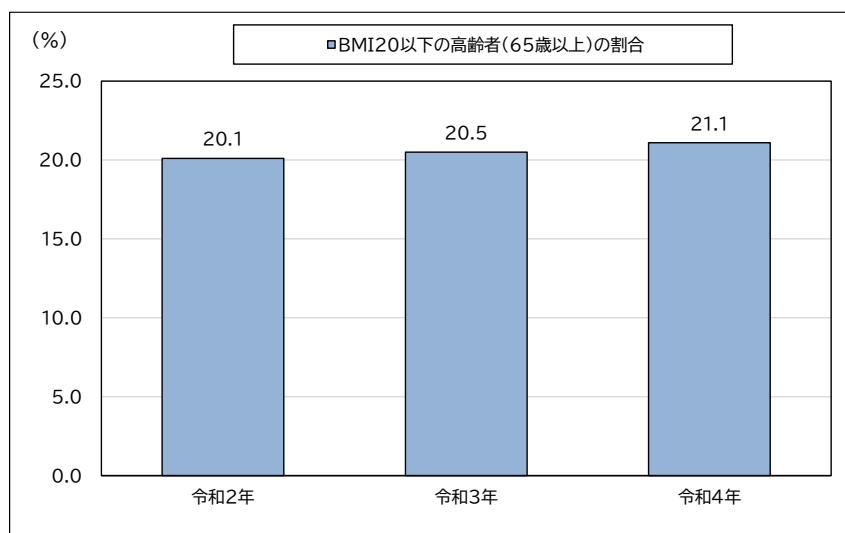
社会活動を行っている高齢者（65歳以上）の割合については、令和3年から令和4年にかけては横ばいで推移していましたが、令和5年では増加して67.7%となっています。



出典：ちくしのまちづくりアンケート

(3) BMI 20 以下の高齢者（65歳以上）の割合

BMI 20 以下の高齢者（65歳以上）の割合については、若干増加傾向となっており、令和4年では21.1%となっています。



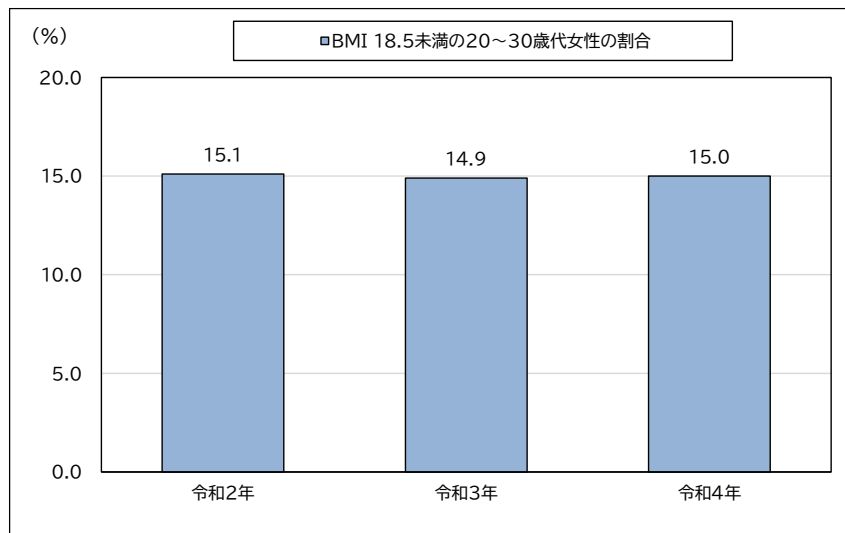
出典：筑紫野市健康診査結果、筑紫野市後期高齢者健康診査結果



1.4 女性の状況

(1) 若年女性のやせの状況（BMI18.5未満の女性）

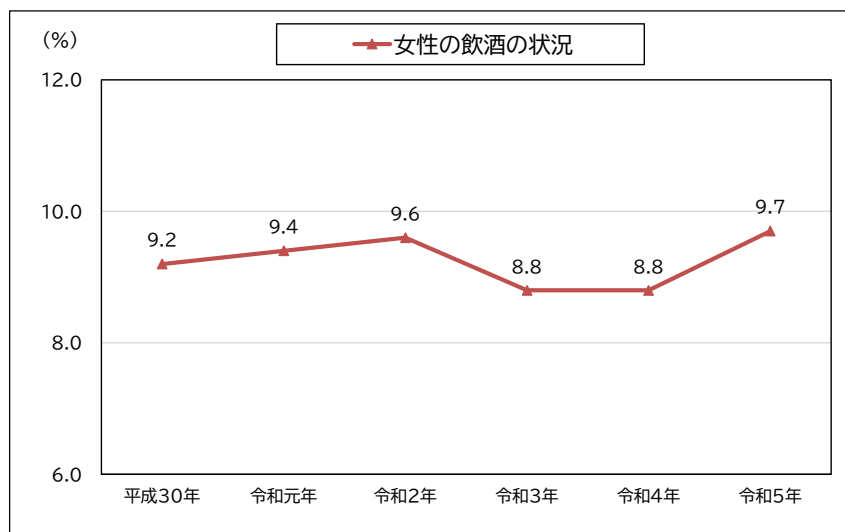
若年女性（20歳～30歳代）のやせの状況については、ほぼ横ばいとなっており、令和4年では15.0%となっています。



出典：母子手帳交付時の妊娠届出データ

(2) 女性の飲酒の状況

生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の割合については、令和3年、令和4年で減少したものの、令和5年では増加し9.7%となっています。



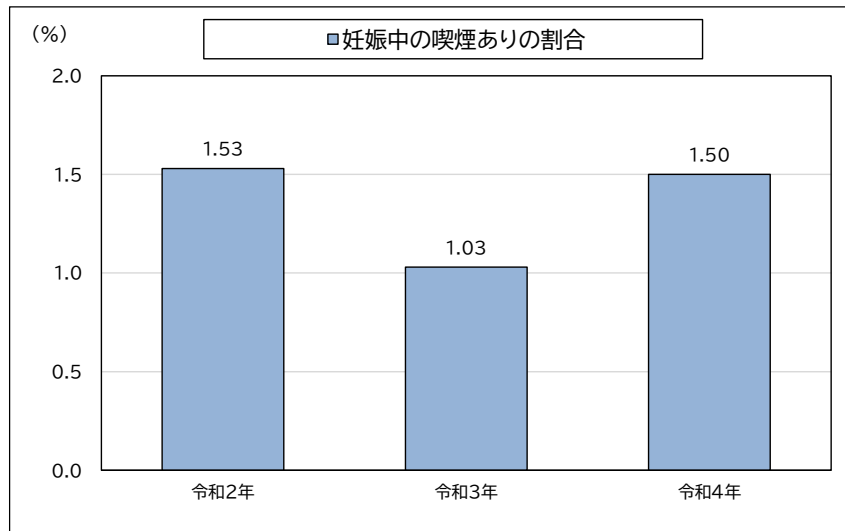
出典：ちくしのまちづくりアンケート



第2章 筑紫野市の状況

(3) 妊婦の喫煙の状況

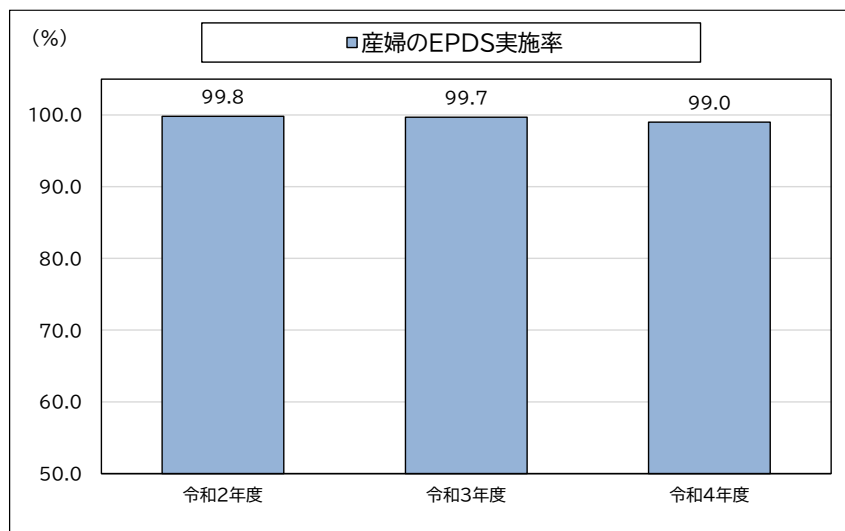
妊婦の喫煙率については、令和3年に減少したものの、令和4年では上昇に転じ1.50%となっています。



出典：母子手帳交付時の妊娠届出書

(4) 産婦のEPDS実施の状況

産婦のEPDS実施率については、ほぼ100%となっており、令和4年度では99.0%となっています。



出典：乳児家庭全戸訪問事業

※EPDS（エジンバラ産後うつ病自己評価票）